

フライヤー用フード修理業務事例

富士工業グループ様

フライヤー用フードで業務用市場に進出
全国をカバーする修理体制を迅速に構築

事例のポイント

課題背景

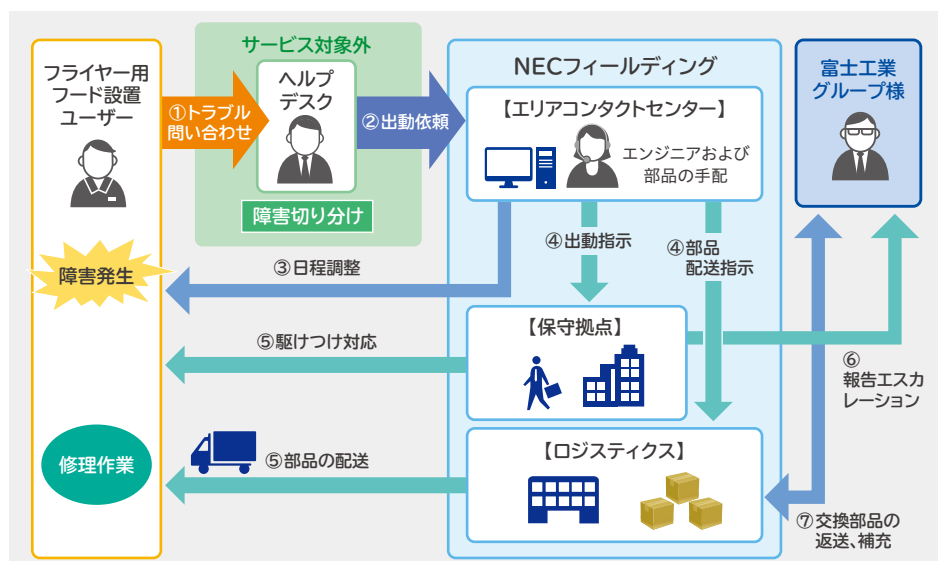
- ・業務用のフライヤー用フードの修理体制を構築したい
- ・迅速な修理対応を全国で可能にしたい
- ・均一の修理品質を全国規模で確保したい

成果

- ・ICT機器保守の高い信頼性を背景に非ICT機器の修理にも対応
- ・全国の拠点ですぐに対応可能
- ・24時間365日対応のコールセンターや部品倉庫があり迅速に配送

対象サービス

● 修理対応のフォーメーション



-FUJIOH-

お客様名:富士工業グループ

所在地:神奈川県相模原市中央区淵野辺2-1-9

概要:1941年に川崎市で日本マイカ工業所として創業。1973年にレンジフードの生産を開始。システムキッチンメーカー向けのOEMを中心に、レンジフードの国内シェアは50%超の最大手。「空気を変え、環境を変え、明日を豊かに変えてゆく」をミッションに掲げ、レンジフードの高機能化、多様化に挑戦し続ける。自社ブランドは「FUJIOH」。

URL: <https://www.fujioh.com/>



導入前の背景や課題

業務用市場に参入 故障対応の体制構築が課題

富士工業グループ様は、1973年に家庭用レンジフード市場に参入以来、システムキッチンメーカーへのOEMを中心に現在では国内のレンジフード市場でシェア50%超というこの分野では最大手のメーカーです。さらに上海やシンガポールにも拠点を設けて海外市場にも進出し、FUJIOHブランドで高い評価を得ています。「家庭向けで事業を拡大してきましたが、景気変動による住宅

着工件数の増減に大きく影響される面があります。加えて国内では将来的に人口減が進むと予想される中、住宅市場が成長する保証はありません」と、同社の担当者は危機感を持っています。そこで「さらに事業を拡大していくためには新たな市場開拓が不可欠と判断し、業務用市場に参入することを決めました」と話します。

レンジフードは家庭用と業務用で大きな違いがあります。家庭用レンジフードは左右を吊り戸棚などに挟まれている形状が一般的です。一方業務用は店舗内の厨房に設置しやすいように自

立式となっています。また、家庭のキッチンスペースはそれほど狭くありませんが、業務用はレンジの近くに設置されるケースが多いのも特徴です。業務用は、から揚げやポテトフライなど揚げ物を調理するフライヤーの上に設置します。フライヤーはレンジの近くに設置されるケースが多いので、店舗スタッフの動きを想定した設計にしなければなりません。また、ビル内にある店舗の場合は脱臭フィルターを用いて効率よく吸気し、臭いを店舗内に漏らさない工夫も必要になります。

選択のポイント

全国をカバーし 均一な修理品質を提供

家庭用と業務用の最大の違いはサポートの体制です。「家庭用の場合、故障してもすぐに修理に来てほしい、ということはありません。それに対して業務用は故障すれば売りに影響するので、迅速に修理できる体制が必要になります」その体制を確立するために修理を委託できる企業を探さなければならぬ。当時の前任者が、「アフターメンテナンス」、「修理」などのワードを用いてインターネットで検索しましたが、ニーズに

合う会社にたどり着けませんでした。

そんな中、NECフィールディングがソリューションを提案していることを思い出し、ホームページを見て電話をしたそうです。「当社では以前NECのメインフレーム『ACOS』を使い、今でも社内のICT環境はNEC製品を使っています。その保守を担当しているのがNECフィールディングで、情報システム部は高く評価しています。非ICT機器の保守も手掛けていることは知りませんでした。不安はありませんでした」と話します。NECフィールディングの担当者がすぐに実機確認を行うなどスピーディーな対応が印象的だっ

たそうです。

富士工業グループ様が求めていたのは、全国をカバーして均一な修理品質を保つことでした。「NECフィールディング以外に複数社の提案を比較しました。しかしカバーできるエリアが限られているケースが多く、こちらの要望に応えられる会社はありませんでした。全国の拠点ですぐに対応可能なこと、24時間365日対応のコールセンター、保守用の部品をストックできる倉庫があり迅速に配送できるといった物流面などが他社との圧倒的な違いでした」と、NECフィールディングを選んだ最大の理由を話します。

導入後の成果

新規店舗の修理対応のほか 病院や介護施設も視野に

富士工業グループ様にとって業務用は新たな市場であり、収益の柱として事業を拡大していくとしています。2019年7月にスタートしたNECフィールディングとの契約は、その後、全国に展開する店舗のフライヤー用フードのリプレースや新規店舗への設置などを対象としたサポートへと広がっています。

「メーカーとして故障が起きないように設計製造することはもちろんですが、部品の破損や故障

をゼロにはできません」と話します。例えば、富士工業グループのフライヤー用フードには高速回転するディスクで油分を吹き飛ばして集めるオイルスマッシャーという独自の機能を搭載しています。そのディスクを清掃する際に破損するというケースがあります。「故障すると、すぐにNECフィールディングの技術者が対応してくれるので、とても安心です」

富士工業グループ様では、飲食店や病院、介護施設など調理設備のある施設に向けて業務用製品の拡販を進めていく考えです。「当社のミッションはキッチンや厨房を中心に空気環境を

良くすることです。同時にSDGs推進や環境対策で省エネが求められているため、消費電力を抑制する設計に加えて、お客様が使用される環境を考慮して吸排気性能向上を図っていきます」と、製品の機能強化で差別化を図っていくと話します。

最近では排気ダクトが設置しにくい場所や排気の臭気が問題になる場所などに対応したダクトレスタイプのフライヤー用フードを製品化しています。そうした商品ラインナップの拡充を進めていくとしています。

お問い合わせは、下記へ

NECフィールディング
マルチメンテナンス事業部 特定業種サービス営業部
TEL : 050-3146-3333
URL : https://solution.fielding.co.jp/lp/business_support_lp/

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への役員提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。